

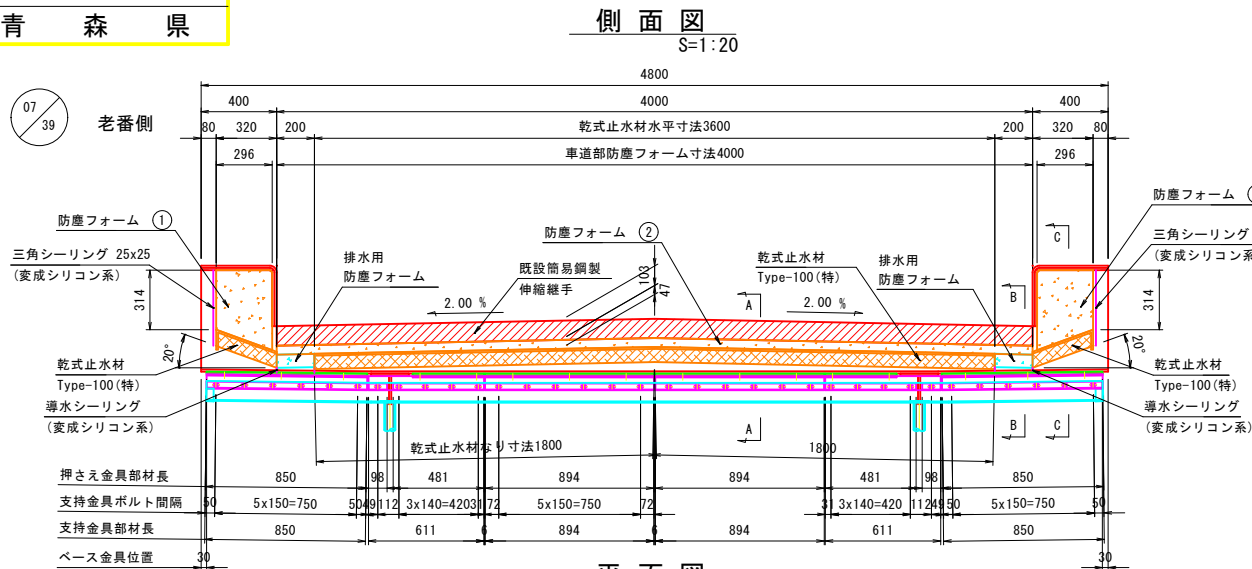
令和8年度 神明橋梁補修工事			
工事番号	第 8 号		
路線 河川	阿光坊線		
施工箇所	おいらせ町阿光坊地内		
伸縮装置補修工図 (その4)	縮尺	図示	
図面番号	業中		
おいらせ町			
青 森 県			

神明橋 伸縮装置補修工図 (その4)

P1 P2 P3 P4 P5橋脚

止水材取替工

		P1橋脚	P2橋脚	P3橋脚	P4橋脚	P5橋脚
標準ウェブ間隔	+10℃時	100mm	100mm	100mm	100mm	100mm
最大ウェブ間隔	-20℃時	113mm	113mm	113mm	113mm	113mm
最小ウェブ間隔	+40℃時	87mm	87mm	87mm	87mm	87mm

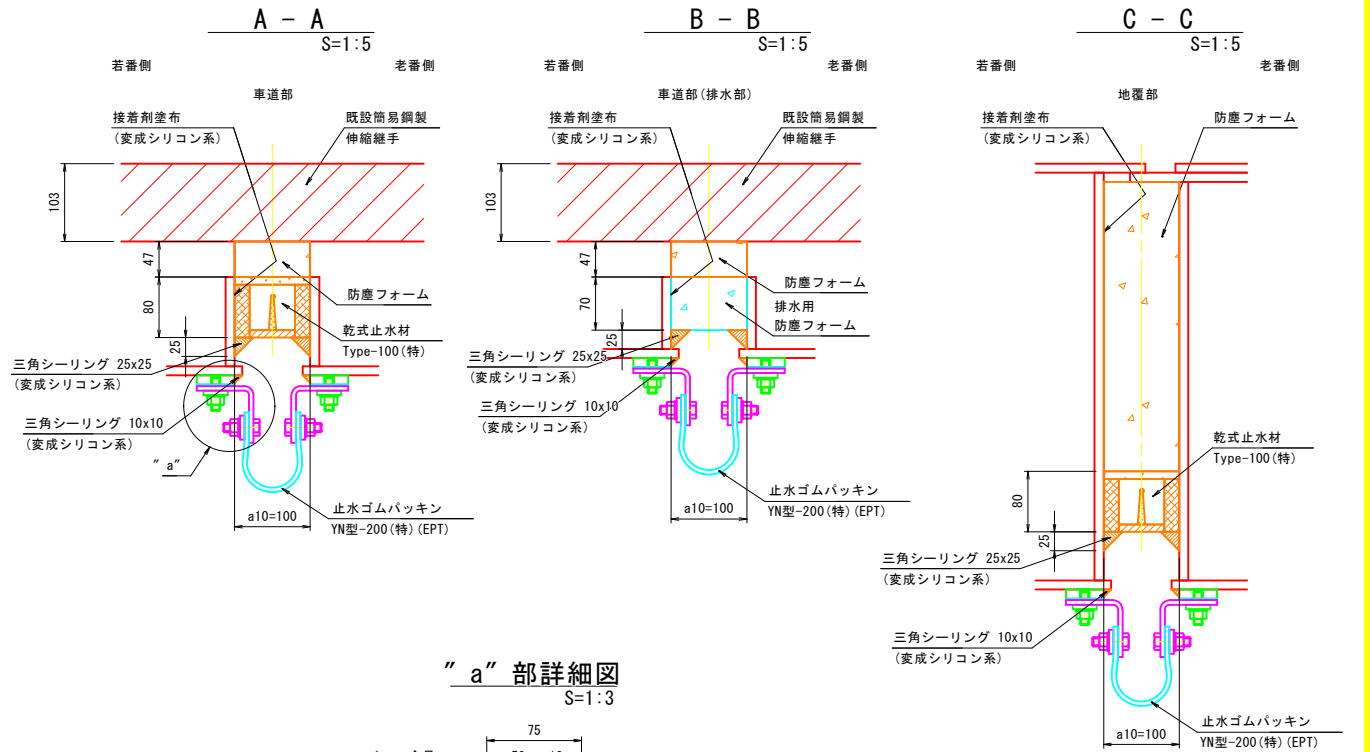


- ① 2-乾式止水材 Type-100(特) × 341
1-乾式止水材 Type-100(特) × 3600
2-防塵フォーム 123 × 70 × 200
② 1-防塵フォーム 123 × 47 × 4000
4-漏水防止材 50 × 10 × 850
4-漏水防止材 50 × 10 × 377
4-漏水防止材 50 × 10 × 894

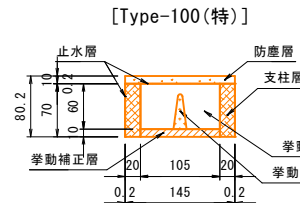
- ※1 2-FB 32 × 6 × 850
※1 2-FB 32 × 6 × 98
※1 2-FB 32 × 6 × 481
※1 2-FB 32 × 6 × 894
※1 2-PL 140 × 6 × 850
※1 2-PL 140 × 6 × 611
※1 2-PL 140 × 6 × 894

- ※2 2-FB 50 × 12 × 850
※2 2-FB 50 × 12 × 377
※2 2-FB 50 × 12 × 894

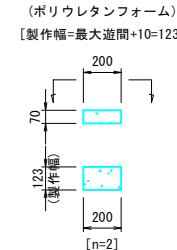
- ※1 16-寸切BOLT M12 × 40 (1-UN, 1-W付)
※1 34-BOLT M12 × 40 (1-UN, 1-W付)



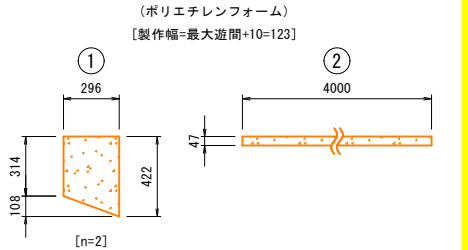
乾式止水材詳細図 S=1:5



排水用防塵フォーム詳細図 S=1:20



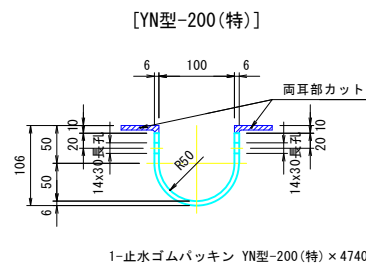
防塵フォーム詳細図 S=1:20



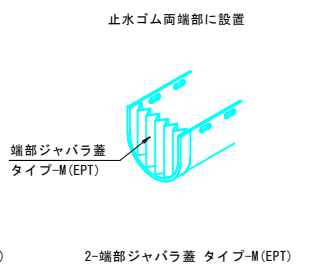
注記)

- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
- ※1印部材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。ただしボルト類はHDZ35とする。
- ※2印部材は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行なって溶接し、溶接後はタッチアップ塗装を行なうこと。
- 金具に溶接されたボルトは工場出荷時にビニールパイプ等で養生すること。
- 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実にすること。
- 接着剤(t=3)に接する局部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m2)を塗布すること。
- 止水ゴムパッキンの排水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
- 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

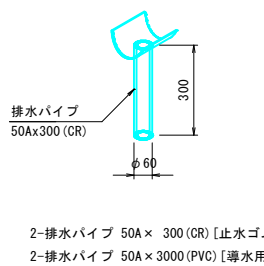
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:5



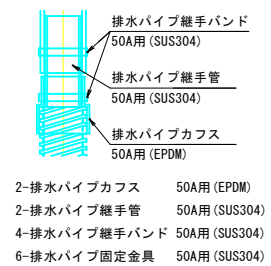
端部ジャバラ蓋詳細図 Nonscale



排水パイプ詳細図 Nonscale



排水パイプ継手部詳細図 S=1:5



配置図

